

# 「語りもんそ」

Vol.18 平成23年8月31日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

## 県庁ロビーコンサート

5月24日（火） 鹿児島県庁舎2階県民ホール

ピアノとユーフォニアムの演奏に会場を訪れたお客様は、昼さがりに癒しのひと時を過ごされました。

演奏は鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティストの有留 奈都子さん（ピアノ）と竹村 由加里さん（ユーフォニアム）のお二人で、県民ホールは多くのお客様でいっぱいになりました。



県庁舎2階県民ホール

### ●お客様に感想をお聞きしました

石踊節子さんと茜ちゃん（1歳7か月）

鹿児島市小川町

「クラシック音楽が大好きでいろんなコンサートに行きたいのですが、未就学児は入場できない場合が多く、今日は子どもに本物の音楽を生で聴かせることができ親子で楽しめました。お二人のすばらしい演奏に感動しました。今日のコンサートは新聞で入場無料・年齢に制限がないと知りましたが、親子で生の演奏が聴けるコンサートが増えるといいですね。」と今日の感想を話して下さいました。



石踊節子さんと茜ちゃん

### ●職場体験学習

宝山ホールを3日間の職場体験学習先にした東谷山中学校3年の下迫慎平さんと梶野武史さんは1日目が、県庁ロビーコンサートの手伝いになりました。会場の設営と撤去、プログラム・パンフレットの配布、お客様の案内を経験した二人に感想を聞きました。

「学校では吹奏楽部に入っていていろんな演奏会で宝山ホールにはお世話になっており今回の職場体験学習先として選びました。今日の感想は宝山ホール職員の方の動きがすばらしく、テキパキと行動している姿、また接客の難しさ、まわりへの気配りを学びました。」

東谷山中学校吹奏楽部は2010年8月の吹奏楽コンクール九州大会で金賞、9月のマーチングコンテスト九州大会で金賞、アンサンブルコンテスト九州大会で銀賞を獲得し、下迫慎平さんはクラリネット、梶野武史さんはトランペットの奏者です。



下迫慎平さん（左）と梶野武史さん（右）



シスター濱崎千鶴さん

♪♪日曜の朝にカフェで音楽を♪♪

## カフェ ミニコンサート

7月17日（日） 10時30分～

会場 カフェ マ・ナ～ナ（宝山ホール2階）

入場無料（要ワンドリンクオーダー）

5月から毎月1回日曜日に、(財)鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティストによるミニコンサートが始まりました。7月は片倉聖さん（オーボエ）と井上奏子さん（ピアノ）の生演奏でした。来場されたお客様は45分間ではありましたが、コーヒー等を飲みながら楽しまれていました。



### ●お客様に感想をお聞きしました

シスター濱崎千鶴さん

（長崎純心聖母会鹿児島修道院・鹿児島純心女子短期大学）

「今日は11時30分から、第29回学生合同茶会があるため若干早目に会場入りしましたが、運が良かったです。久しぶりに生の音楽にふれて心が洗われるような豊かな気持ちになりました。」と感想を話して下さいました。

第32回霧島国際音楽祭

## 「クリスマス祝祭管弦楽団公演」

7月28日 宝山ホール



鹿児島市出身で世界的指揮者の下野竜也さん、日本を代表するチェリストの堤剛さん、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第1コンサートマスターの樫本大進さんと国内外のトップアーティストが加わり音楽祭期間中に一度だけ結成されるオーケストラは今年も立ち見席が出るほど満員で宝山ホールでの霧島国際音楽祭公演を華やかに飾りました。

### ●お客様に感想をお聞きしました

横田いち子さん まい子さん 鹿児島市鴨池町

「世界のチェリスト堤剛さんと、あのカラヤンが常任指揮者だったベルリンフィルのコンサートマスターで今や時の人ヴァイオリニスト樫本大進さん、そして鹿児島が誇る指揮者下野竜也さんと霧島国際音楽祭ならではの豪華なメンバーにはクラシックファンならずともワクワクする共演は本当に素晴らしいの一言。オーケストラと共にお二人が、お互いアイコンタクトをとりながら、触れんばかりの距離でのチェロとヴァイオリンの二重奏は心に響き、美しくも力強く高邁な音色に魅了され、幸せな夜でした。伝統ある霧島音楽祭がますます発展し、多くの音楽ファンが良質の演奏会に多く触れることができ、若い演奏家の方たちが育っ

ていけばと心から願っています。終演後お疲れの中、堤さん、樫本さん、下野さんが気軽にパンフレットやCDにサインをして下さり最後まで感激の一夜でした。」と今日の感動を話して下さいました。



横田いち子さん      まい子さん



音響室（音響卓）

調光室（調光卓）



## ●感想をお聞きしました

田中智喜くん 智啓くん（小6で双子の兄弟）  
鹿児島市吉野町

「学校の先生からプリントをもらってこの探検隊を知りました。ふだん見られない楽屋とか、音響装置を操作したり、スポットライトを照らしたり、舞台のマイクの上げ下げとか、とても楽しかったです。」

お母さんの香代子さんは、「音楽が好きで宝山ホールでのコンサートにはよく来ますが、初めて舞台裏を見て楽しかったです。舞台上で照明がまぶしい時は目つぶして舞台の人を消すためということがわかり、次舞台を見るのが楽しみになりました。」と親子で感想を話して下さいました。



智喜くん 田中香代子さん 智啓くん

○探検終了後参加者全員で記念写真



ダルマ探検隊長を中心に、ハイチーズ！

## SUMMER WORKSHOP

夏休み！宝山ホールで楽しもう！探検しよう！

# 宝山ホール探検隊！

8月4日（木） 宝山ホール

小学校高学年から中学生までの参加者35名が3グループに分かれ、ふだん見ることができない宝山ホールの舞台裏、舞台の迫り（せり）、楽屋、舞台装置、シーリング（屋根裏）、調光室、音響室などを探検し、それぞれの操作盤も全員が操作しました。

探検終了後は、舞台上で唄う人、舞台装置を担当する人（紙吹雪・ドライアイスによるスモーク）、音響担当、照明担当に分かれ、全員でミニコンサートを演出し大満足の探検になり、夏休みの自由研究にも役立ちました。

## ○探検の一部をご紹介します



迫り（せり）

楽屋

夏休み！ワークショップ

チャレンジしよう

# 「日本の伝統文化」

～お茶・生け花・日本舞踊入門講座～

8月19日（金）宝山ホール・かごしま県民交流センター

小・中学生のみなさんが、日頃学ぶ機会の少ない日本の伝統文化である日本舞踊・生け花・お茶にチャレンジしました。



生け花（小原流）

慣れない鉢も使えるようになりました。



日本舞踊（吾妻流）

「お江戸日本橋」を習いました。



お茶（裏千家）

作法を一から習い、初めてお茶を点てました

## ●受講者に感想をお聞きしました

○肥後ななみさん（中1） 鹿児島市武岡

日本舞踊・お茶コースを受講

「日本舞踊は、扇子を使った踊りに苦戦してうまくできずとてもくやしかったです。お茶は思った以上に作法が難しかったけど、自分で点てたお茶はおいしく出来上がりました」

お母さんの肥後さよりさんは、「子どもが苦戦している姿を見て、慣れていない様子がよくわかりました。日舞も茶道も道具や仕草、手順にそれぞれしきたりや意味があり、伝統文化の奥深さを感じました。私自身も子どもと一緒にとても勉強になりました。」と話して下さいました。



ななみさん 肥後さよりさん

○大谷紫乃さん（小6） 鹿児島市西田

日本舞踊・生け花コースを受講

「日本舞踊も生け花も難しかったけど、楽しくていい体験になりました。」と話して下さいました。



テレビ取材（KYT）を受ける、大谷紫乃さん

《今回の取材担当》

取材記事 広報ボランティア 加治屋 ゆきな  
撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行

宝山ホール広報ボランティア「語りもんそ」編集部  
〒892-0816 鹿児島市山下町 5-3 宝山ホール  
TEL 099-223-4221 FAX 099-223-2503